

長年の交通安全活動の功績を称えて

長塚英夫さんが交通栄誉章「緑十字金章」を受章されました

県交通安全協会島田地区支部理事の長塚英夫さんが、1月17日に開催された第47回交通安全全国民運動中央大会（会場：東京都日比谷区）において、長年の交通安全活動が高く評価され、交通栄誉章「緑十字金章」を受章されました。

長塚さんは、これまで（財）県交通安全協会島田地区支部の理事や、島田警察署暴走族通報モニター委員長などを歴任し、地域の交通安全活動にご尽力されました。

広く交通事故防止と交通秩序の確立に献身的に寄与されたその情熱と功績が認められ、今回の受章となったものです。

島田署管内では2人目の受章とのこと。長塚さんおめでとうございました。



地球にイイコト頑張りました！

環境活動コンテストで（株）神田組がグランプリの栄冠

2月25日、地球温暖化防止のため魅力的でユニークな活動を実践している個人や団体を対象とした「STOP温暖化グランプリ」の最終審査会が、静岡市しずぎんホールで行われました。

エントリー数144チームの中から、第1次、第2次審査を通過した県内4つのチームが、それぞれ活動内容を発表しました。

そして最終審査の結果、チーム神田（（株）神田組 寺馬区）が見事グランプリ（最優秀賞）の栄冠に輝きました。

このコンテストには「STOP温暖化アクションキャンペーン」に賛同する個人や団体144チームがエントリーし、昨年6月から、それぞれのチームごと環境活動に取り組んできました。

グランプリに輝いたチーム神田では、アサガオで作った緑の力ーテンや雨水を利用した打ち水、寺馬区に環境情報紙を配布、我が家環境大臣の推進など、アイデア溢れる多彩な取り組みを実践してきました。メンバーの山本博昭さんは「ゆくゆくは全町的な運動に発展できればうれしい」と話してくれました。チーム神田のみなさんおめでとうございました。



1年間かけて学んだ成果を発表する場

川根地域の中学校・高校が、総合学習の発表会を開催

2月16日、川根町の「チャリム21」を会場に、総合的な学習の時間発表会が行われました。「21世紀の川根地域を担う人材の育成」を目的として行われた発表会で、中高一貫教育連携中学校・高校の生徒約300人が集まり、大ホールなど3つの部屋に分かれて、1年間学んできた成果を、生徒同士で発表し合いました。

また発表会の後には、鈴木淳二さん（徳山）による講演会が行われました。鈴木さんは、「私の選んだ道」と題した講演の中で、技能五輪に出場したエピソードを交えて話され、「与えられた情報を鵜呑みにするのではなく、自分で分析・判断できる人間になってほしい。そのためには様々な学習を積み、判断する目を養っておく必要がある」と講演され、生徒たちは、真剣な表情で聞き入っていました。



鈴木淳二さん講演「私の選んだ道」

県芸術祭文学部門で奥田万里さんが芸術祭賞を受賞

奥田さんおめでとうございます



2月9日、県庁別館において平成18年度第46回静岡県芸術祭の授賞式が行われ、奥田万里さん（田野口）の作品が芸術祭賞を受賞されました。おめでとうございます。（文学部門・随筆の部）

この静岡県芸術文化祭は、県民の芸術・文化の向上発展を図ることを目的として県教育委員会が主催し行っています。

芸術祭賞となった作品「祖父駒蔵とメイゾン鴻之巣」は、奥田さんの祖父である駒蔵さんの生涯を調べ綴った随筆で、東京で開店した西洋料理店のエピソードをはじめ、与謝野晶子や北原白秋といった著名人との親交、絵をたしなみ個展を開くなど、数々の逸話が文献を交えて紹介されています。

駒蔵さんがいかに魅力溢れる人物だったか想像が広がる作品です。この作品は「県民文芸」という冊子に掲載されています。

南アルプスを

世界自然遺産に

落葉特別天然記念物のライチョウ生息地は、世界規模の南限であるといわれています。
また、私たちの生活に欠くことのできない大井川は、間ノ岳が源となっています。

このように素晴らしい価値を持つ南アルプスを、世界の財産として未来に残していくため、世界自然遺産に登録しようといふ取り組みをはじめます。

2月28日、山梨県の南アルプス市に、山梨県、長野県、静岡県の関係する10市町村の首長、議長が集まり「南アルプス世界自然遺産登録推進協議会」を設立しました。

南アルプスは日本を代表する山岳地帯であり、富士山に次ぐ高の北岳（3,193メートル）をはじめ、3,000メートルを越える山が13座あります。川根本町にある光岳南西部は、本州で唯一原生自然環境保全地域に指定されています。

登録に向けた第一歩
南アルプス世界自然遺産登録推進協議会の設立

